

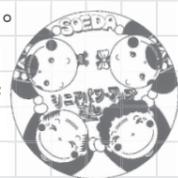


あなたの経験を地域の力に オークホールを拠点に活動中

「シニアパワーアップ塾」新規塾生募集！

55歳以上のベテラン世代が集まった「シニアパワーアップ塾」では、現在約50人の会員が長年の経験や知識、技術を活かして、地域のボランティア活動やまちづくりに参加しています。

「シニアパワーアップ塾」は、シニア世代の皆さんが一步を踏み出すきっかけとなる活動の場です。活動を通して人生の学びを深め、新たな仲間と交流しながら自分らしく社会とつながるチャンスです。地域の未来を一緒につくっていきましょう。あなたのご参加をお待ちしています。



興味のある人、募集中です

- 対象者 町内在住または在職で55歳以上の地域に貢献したい人
 - 会費 500円/年額
 - 申込方法 オークホールに備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、提出。詳しくは問い合わせください
- ☎ オークホール内シニアパワーアップ塾事務局 (☎82-2559)

こんな活動しています

美しい花を咲かせるため

英彦山花園美化活動



春に英彦山花園を彩るシャクナゲやアジサイなどの見頃が終わったあと、毎年花摘みを行っています。今年は5月上旬にシャクナゲの花摘みを、7月上旬にアジサイとラベンダーの花摘みを行いました。花園内のシャクナゲは約5,000本、アジサイは約2,000株、ラベンダーは約1,500本あり、ボランティアでその半分ほどの花を摘みました。花摘みの後のお茶はとておいしかったです。

児童の笑顔に癒される

学びっこ教室



小学1、2年生の放課後学習「学びっこ教室」(事業の詳細は13ページ)では、プリントの丸付けや簡単な学習指導を行っています。「よくできたね」と児童を褒めると、こぼれるような笑顔が返ってきて、参加するたびにみんなパワーをもらっています。また、児童とも顔見知りになり、町内で見かけると「先生!!」と嬉しそうに話しかけてくれる児童もおり、地域での子育ての大切さ、素晴らしさを実感できます。

昔遊びの楽しさを伝える

夏休み見守り・昔遊び隊



夏休みや春休みの学校が長期休暇時に児童館や放課後児童クラブ(学童)で「夏休み見守り・昔遊び隊」を開催しています。特に夏休みは熱中症などの心配から屋内で過ごす時間が長くなり、ゲームや動画視聴の時間が多くなりがちです。そこで長期休暇時に児童たちがなかなか触れる機会がなく、遊び方が分からないコマやお手玉、かるたなどをシニアパワーアップ塾の皆さんが講師となり、一緒に遊んでいます。

全国で「リチウムイオン電池」による発火事故や火災が発生中

燃えないごみが燃えてしまう！？ リチウムイオン電池、正しく分別を

小型で大容量、繰り返し充電ができることから私たちの生活を支えるエネルギー源として普及している「リチウムイオン電池」は、スマートフォンやモバイルバッテリー、コードレス掃除機などの充電できる製品に広く使われ、生活に欠かせない物となっています。便利な反面、強い衝撃が加わると発火する恐れがあるという危険もある「リチウムイオン電池」

は、燃えないごみとして捨てられて回収する際のごみ収集車やごみ処理施設で発火し、火災が発生するケースが全国で相次いでいます。中には火災後、ごみ処理施設の再稼働までに2年以上の月日を要する施設もあります。ごみの適切な処理には、分別が大切です。ごみの捨て方を再確認してみませんか。

☎ 役場福祉環境課環境保全係 (☎ 82-1232)

なぜ危険？なぜ発火？「リチウムイオン電池」

充電式電池は、強い衝撃が加わると発熱・発火する危険があります。中でもリチウムイオン電池は可燃性の高い溶剤が使われていて、特に発火する危険が高くなります。

ごみ処理施設では収集した燃えないごみを機械により細かく砕き処理を行います。職員が燃えないごみの処理を行う前に分別を行っていますが、すべての充電式電池を取り除くことは困難で、その際混入したリチウムイオン電池などの充電式電池が破損し、発火する可能性があります。

充電式電池は町が収集するごみ袋では出せません。ごみの分別基準は次のフローチャートで確認ください。

「もしも」に備えて訓練中

さくら環境センターでは田川地区消防本部と合同で消防火災訓練を行っています。5月の訓練では、施設職員による初期消火や避難誘導の手順確認などの後、駆けつけた消防隊員による消火訓練を行いました。



ごみの分別方法を再確認！

